

日本学術会議機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
理論応用力学分科会理論応用力学企画小委員会（第25期・第3回）
日本学術会議機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
理論応用力学分科会学協会連携小委員会（第25期・第2回）合同会議
議事要旨

日時：2022年6月25日（木）16：00～18：00

会場：Zoomによる遠隔会議

参加者：

理論応用力学企画小委員会：高田保之*（委員長）、高木周*（幹事）、前川宏一*、金田行雄、亀田正治*、岸本喜久雄*、菱田公一*、近藤智恵子、堀宗朗*、田川義之、長井宏平

学協会連携小委員会：前川宏一*（委員長）、亀田正治*（副委員長）、長井宏平*（幹事）、山川誠、菱田公一*、高田保之*、亀田正治*、岸本喜久雄*、堀宗朗*、高木周*、奥村大、竹脇出、廣瀬壮一、松島亘志、山田貴博、泉典洋、祖山均、大宮正毅、中口悦史、藤原宏志、白崎実、福本康秀、鈴木克幸、塩見淳一郎
オブザーバー：朝川剛、花崎秀史、菊本統、肥田剛典、永田晴紀、加藤準治、丸山泰蔵、向井洋一、高田豊文、佐藤大樹、大塚貴弘、石原卓、藤田皓平

（順不同、敬称略） *は両小委員会に所属している委員

配布資料：

- 資料1 第66回理論応用力学講演会運営委員会名簿
- 資料2 第66回理論応用力学講演会第1回運営委員会議事録確認
- 資料3 第66回理論応用力学講演会開催概要報告
- 資料4 第66回理論応用力学講演会決算見込み
- 資料5 会費についての意見

議事

※日本工学会理論応用力学コンソーシアム・理論応用力学講演会運営委員会
日本工学会理論応用力学コンソーシアム
第66回理論応用力学講演会運営委員会（合同会議）

1. 開会の挨拶と会議趣旨説明

- ・ 前川委員（理論応用力学コンソーシアム副代表）より開会の挨拶と、本日の会議の趣旨が説明された。理論応用力学講演会が日本工学会主催、日本学術会議後援で開催中であり、これに合わせ関係委員会合同会議を開催することとなった。
- ・ 菱田委員（理論応用力学コンソーシアム代表）より挨拶があった。日本工学会と日本学術会議の理論応用力学系の研究者が連携し、国内外での活動を進めている経緯が説明された。

- ・ 岸本委員（日本工学会会長）より挨拶があり，理論応用力学講演会の幹事学会である建築学会への謝意が示された。
- ・ 山川委員（第 66 回理論応用力学講演会運営委員会委員長）より本日の議事が説明された。開催中の理論応用力学講演会の開催報告が主な議題となる。

2. 名簿の確認

- ・ 委員名簿の確認があった。（資料 1-1，資料 1-2，資料 1-3，資料 1-4）

3. 議事録の確認

- ・ 前回運営委員会の議事録の確認があった。（資料 2）

4. 理論応用力学講演会運営状況報告

- ・ 理論応用力学講演会の開催概要報告があった。（資料 3）
- ・ 講演数は前回より減少したもののセッション数合計 32 件，講演 132 件，基調講演 5 件，更に特別講演 2 件とパネルディスカッションがあり，参加者も約 200 名に達している。
- ・ プログラムは講演会 HP に掲載されている。
- ・ 企業展示については 11 企業からの参加があった。

5. 理論応用力学講演会決算見込み

- ・ 講演会の会計の見込みについて報告がされた。（資料 4）
- ・ ここでの報告は本講演会のみ収支であり，繰り越し金等は含まれていない。
- ・ 参加登録費 171 名と企業協賛 11 社が収入である。支出は講演謝金，人件費（アルバイト），会議費（Zoom 使用料），その他（論文投稿，参加登録システム等），事務諸経費（建築学会）である。オンラインのため印刷費，交通費等がかかっていない。
- ・ 来年度以降の開催については，対面とするかハイブリッドとするか，費用を考慮しつつ検討する必要がある。

6. 今後の学協会連携と次期講演会運営への申送り

- ・ 次回講演会の幹事を機械学会にお願いすることとする。日本工学会から依頼を出し正式に準備が始まることとなる。参加費については，次回以降の見直しを含めて検討する。（資料 5）

7. その他

- ・ 2024 年 ICTAM（International Conference of the Theoretical and Applied Mechanics）は韓国で開催される。
- ・ 流体力学会では将来ビジョンを纏めた Fluid Mechanics2030 を公表している。

8. 今後の予定

- ・ 来年度の講演会については，日本工学会から機械学会に依頼を出し準備が始まり，年末もしくは来年初頭には開催場所と概要が決まるスケジュールである。

- ・ その他の委員会の次回開催予定については未定である。

以上